

新 五 崎



点灯したイルミネーションの前でクリスマスキャロルを歌う
戸田市児童合唱団＝市児童センター(子ども園)

イルミ点灯に 児童の歌声も

戸田・子どもの国周辺

戸田市本町の市立児童センター(子ども園)で、イルミネーションの点灯式が行われた。隣接の戸田中央病院を含め、周辺の沿道に25万3千個の青と白の発光ダイオード(LED)球が来年2月14日まで、午後4時半から翌日午前0時半までともる。

点灯式には神保国男市長や戸田中央医科グループの中村隆俊会長、子どもの国の指定管理者の社会福祉法人「さきたま会」(本部・久喜市)の竹下成子理事長、上前町会員の八木橋宣夫さんら地元商店街や町会の代表が出席。八木橋さんは「イルミネーション

で町も明るく、心も温かくしたい」と話した。

会場には親子連れら約2千人が集まり、埼京戦隊ドレシニャーのショーを楽しんだり、戸田市児童合唱団(大野織絵団長)のクリスマスキャロルを聴いたりした。

合唱団は1976年から福祉センターや小学校の音楽室を借りて練習を続けている。

最年少の武川澄花さん(4)は「楽しかった」。戸田第2小4年の大嶋花月さん(10)は「うまく歌えた」。同6年の佐野万希子さん(11)は「ホワイトクリスマス英語が不安だったけど、できて達成感がある」。新曽小6年の大野天馬さん(12)は「楽しくなろう」と心を入れた」と話した。